



がんばろう日本 支えあおう 世界の友達と

国際交流フェスタ 2011

とき：10月30日(日) 11:00～15:00 ところ：市民会館

●フェスタ 2011

フェスタ 2011 実行委員長 東原 聖二

今回も、大きなトラブルもなく、入場者数200名とまあまあ盛会と言えるフェスタになりました。例年の行事内容(歌、踊り、楽器演奏、大道芸、外国人の日本語スピーチ、着物・民族衣装試着、篆刻、各国料理コーナー等々)に加えて、今回は新しい試みとして、お花(小さなカップを盛り花で飾る)・英会話サロン(英語だけで外国人講師達と会話を楽しむ)・手相占い(香港人による本場中国式占い)・餅つき(毎年、単独行事として行っていた)などを組み込んで見ました。結果は予想以上の好評でひと安心でした。



会場は市民会館を使わせてもらい、ここの古い日本の屋敷と庭園のたたずまいは、私達の行事をやさしく包み込んでくれたようで、ここで開催できて良かったという思いを強くしました。このフェスタにご尽力いただいた多くの方々(行事への参加・出演された人達、協賛企業各社、市民会館の方々)に、深く感謝申し上げます。

*** 開会式 ***

●和太鼓 (アトラクション)

柏 菩提樹

日本が千年に一度の大震災を経験したことし、今年、歴史ある野田の美しい日本庭園で和太鼓を演奏させて頂き、有難うございました。



柏 菩提樹のメンバー一同、世界の平和

とみんながひとつになって前進できるようにと、祈りを込め一杯叩かせて頂きました。

これからもお互いの文化を理解し合い世界の人と友達になることを目的にした野田市国際交流協会の活動に是非協力させて頂きたいと思っております。とても楽しい一日でした♪



来賓挨拶



●スピーチ原稿

「日本に着いてから感じたこと」

ジャスピン・シャロン さん (マレーシア)

マレーシアから参りました
 シャロンと申します。
 私は、今年の4月に
 東京理科大学に編入し
 ました。日本に着いてか
 ら、一番驚いたことは日本
 のサービスです。特に、
 宅急便のようなサービスで
 す。マレーシアでは、一度
 不在だったり、荷物が大きすぎると自分で取りに行かな
 くてはいけません。日本のサービスはどんな荷物も
 何度でも届けてくれます。その他、郵便局やレストラン
 へ行っても、笑顔でお客様を向っています。まさに“お
 客様は神様です”と言う言葉にぴったりです。そして、
 日本に来る前に、日本人の先生達から一つ注意され
 たことがあります。それは、日本人は時間に厳しいとい
 うことです。遅刻すると、悪いイメージを与えるから、気
 をつけています。私にとって、これは日本人の最も良
 いところ。それから、親切にしてくださいましたこと
 があります。私はキリスト教なので、インターネットでカトリッ
 ク教会の情報を調べて、豊四季教会に行きました。
 日本の教会だから、ミサや聖書は全て日本語で、すご
 く困っています。でも、周りの人達は私に声をかけて
 くれて、色々なことを教えてもらいました。みなさんのお
 かげで、私は今日本語でミサをちゃんと参加できる
 ようになりました。
 私は日本にいる間の二年間なるべく日本の文化を
 学びたいです。夏休みに野田市国際交流協会のホーム
 ステイに参加しました。みんなは、ホストファミリーとうま
 く交流して、七夕祭りで楽しく踊りました。その二週間
 の後に、私は石川県で JAPAN TENT というプログラ
 ムに参加しました。その一週間で、日本の色々な文化
 を体験しました。例えば、輪島市で最も有名な漆の体
 験、お寺で座禅の体験や茶道の体験などをやりまし
 た。すごく楽しかったです。日本のみなさん、私に優
 しくしてくれて、心から感謝しています。



「フェスタ 2011 の感想」

李 慶 さん (中国)

お天道様は味方して
 くれました！本当にありが
 たいことだと思います。
 暖かな日差しの中で、司
 会者が前置きを話したと
 ん、盛大な拍手が響いて、
 今回の交流会がこのような
 雰囲気の中で開催されまし
 た。この日、私は外国人
 のスピーチとして参加しまし
 た。正直に言えば、
 七名のスピーカーが全て違
 う国の人だとは思いません
 でした。まさに、それぞれの
 国の代表者
 みたいで
 す。最初は少しドキドキして
 いました。その理由の一つと
 して、原稿がまだ暗記して
 いないから
 です。しかし、スピーチの時
 にはうまく
 いきました。いわゆる、セーブ
 線に到達したとい
 うこと
 です。その後の演出項目は
 和太鼓、ジャグ
 リング、中国語の合唱、ギ
 ニアの踊りおよび東欧舞
 踊りです。どちらも面白か
 ったです。和太鼓なら、前
 の日本語学校の時もう体
 験しましたので、ゆえに、
 今回注目することはジャグ
 リングと中国語の合唱
 です。一体どんな演出を
 示しますか？この疑問
 をもって観賞していまし
 ました。やはり、期待が
 はず外
 れませんでした。とても
 凄かったです。次の合
 唱も物凄
 かったです。四つの音
 声がある中国語は
 日本人にと
 って、きつ
 と難しいと思
 います。歌う
 とき、確
 かに発音が
 多少綺麗で
 ないところも
 あり
 ましたが、
 しかし本
 当に素晴
 らしいもので
 した。
 踊りが始
 まったとき、
 自分は和
 服試着に行
 って、初
 めて和服
 を着まし
 ました。そ
 の後、自
 分の写真
 を見て、
 とても似
 合うとい
 言えませ
 んが（少
 しタブ
 タブと思
 う）、格
 好が良
 いとおも
 いました。
 最後の舞
 踊りの終
 りととも
 に、今回
 の国際交
 流会
 は成功で
 幕を下ろ
 しました。
 私たち外
 国人にと
 って、こ
 ういう行
 事がきつ
 と忘れら
 れぬ想
 い出にな
 ると信じ
 ます。そ
 れに国と
 国の間
 でわずか
 でも
 よい関係
 を築くこ
 とに貢献
 しました。
 私はこの
 交流
 会に参加
 させて頂
 けたこと
 を本当に
 感謝しま
 す。



*** 体験コーナー***

● 和服試着 プラ サボイ (カンボジア)

カンボジアから日本に来て、(日本の)着物がどんなものかと思っていました。フェスタで初めて着物を着ることができて良かったです。

カンボジアでは結婚式でも花嫁は洋服の下にいったい着ないから、ひもを何本も使って何枚も着て、帯をしめるのは大変でした。着物は重かったです。でも素敵でした。着物を着たら日本人になったような気がして、本当の日本人になりたいと思いました。日本の花嫁衣装を着ることができて、とても嬉しく、撮ってもらった写真が宝物になりました。



● 篆刻

中村卓史

「篆刻(テンコク)やってみませんか?」と誘われ『何をどうするのだろう。』と中に入ってみました。説明によると、中国が起源の木や石に印を彫る技術のことでその文字に多く篆書(テンショ)を用いるそうです。『実印の文字が確か篆書体だったなあ。』と思い出しながら、印鑑ほどの白い石に先生に書いて頂いた篆書体の私の名前を篆刻刀で彫ってみました。石は意外と柔らかく、思ったより上手く彫れました。最後に先生に丁寧に仕上げて頂き、年賀状に使えるユニークな私印が出来上がり喜んでます。晋先生ありがとうございました。



● 「和服の着付け及び韓国民族衣装の試着体験」

「国際交流フェスタ 2011」の中で、今年も「和服の着付け及び韓国民族衣装の試着体験」が大好評で多くの方が参加されました。そして自分の着た衣装の姿を記念に残そうと、デジタルカメラの撮影とカラープリントの申し込みが多数ありました。特に外国人の方は日本の着物姿を好まれ、中には外国人同士のご夫婦で、御主人は羽織・袴姿で奥様は花嫁衣装姿での2ショットで記念写真を撮り日本の結婚式の雰囲気味わう方もいました。日本人の方は韓国の民族衣装のチマチョゴリを好んで体験をしていました。

このイベントは来年も是非、実施したいと思います (スタッフ: 渋井 猛)



● 手相占い (スタッフ: 森本耕司)

「頑張ろう日本、支えあおう、世界の友達と」をキャッチフレーズに、今年も盛大に開催されたフェスタ。今回は初めての試みで香港出身のリリーさんを鑑定士に迎えて「手相占い」コーナーを設け実施しました。占い時間は5分間、最初は興味本位に手を出し鑑定希望する人も、次第に真剣な表情に様変わり。自分の手を見て真剣顔。「当るも八卦当らずも八卦」鑑定希望者も数多く、時間制限の為、途中で締め切る程の大盛況。鑑定受けられ無かった人此れも運定めでしょうか? 全員参加のイベントに楽しい一時を過ごしたフェスタでした。



たいけん
*** 体験コーナー ***

● お花

今回のフラワーアレンジメントには、4歳と2歳の娘と一緒に参加しました。4歳の娘は幼稚園でハサミの練習をしているので、先生にアドバイスを戴きながら、1人でお花を

たくさんある中から好きな色のお花を選び、高さを考えながら茎を切り、全体的なバランスが良くなる様にと、お花の位置を考えながら次々と活けていきました。

2歳の娘もお姉ちゃんに負けじと、自分の顔ほどある大きな裁ちバサミを両手でしっかりと持ち、硬い茎も太い茎もチョキチョキ切っていました。はじめてハサミを持たせてもらった娘は、もうそれは嬉しさいっぱい、こぼれる程の満面の笑みをしていました。出来上がった作品は、娘たちの頑張り伝わってくる、とても綺麗で可愛らしく素敵なお花でした。

長女は『幼稚園に持って行くの』と、次の日ルンルン気分でもって行きました。幼稚園の先生にクラスのお友達の前

● 飯高つかさ

で、『あおいちゃんが作ったんだって。上手に出来てるね。』と言ってもらえ、お花を受付に飾ってもらえた様で、幼稚園から大喜びで帰宅しました。自分1人で作り、みんなに褒めてもらえ、とても嬉しかったです。それ以来、『また、お花作ろうね。』といつも話しています。

フラワーアレンジメントを通して、長女は自分で最後まで作る喜びを、次女はハサミの使い方を学ぶことが出来ました。普段自宅では出来ない貴重な体験が出来たことを、母として嬉しく思っています。



..... ● アトラクション ●

● ギニアの躍り

2010年2011年と2年連続で参加させていただき、どちらも本当に楽しませて頂きました。色んな国の美味しいご飯や催しものがあり、一日中楽しめるフェスタでした。今回に関しては、素晴らしい環境の中やらせていただき、感動しました。旧茂木庭園の管理されたお庭も本当に和みました。多国籍の方々が、あの和やかな環境に集まっていること、素敵な空間でした。これからも、継続していただきたいです。また是非参加させて下さい！！

● ジャグリング



● 東欧民族舞踊





外国の方々と対面しての会話は緊張から少しずつリラックス。聞き取りの未熟さを実感しながらも楽しかったです。(K.Mさん)

外国人の先生の発音はわかりづらくて、最初はとまどったけれど日本人の先生に替わってからは聞き取りやすくなって良かったです。英語での表現の仕方を教えてくれた事も良かったです。(K.Hさん)

会話の中に途中で加わった時どなたが先生かわからなく、英語が分からない時どなたに助けてもらえるかわからなかったです。(T.Oさん)

会話が盛り上がっている時に先生がランチで席をたっしてしまい、その後は会話が弾まなくなってしまったのが残念でした。できればランチをすませておいてくださるといいと思いました。でも楽しかったです。(M.Sさん)

●中国の歌
外国語講座部(中国語)の学習者の皆さんによる、中国語の歌(「何日君再来」、「夜来香」、「七只小乌鸦(七つの子)」、「故乡(故郷)」など)が庭園内に清清しく流れました。



●韓国料理、チヂミ 金甫宣(韓国)
初めて料理コーナーに参加してチヂミを作ることになりました。料理が苦手な私には百人分を作るなんて不安でした。でもできるだけ韓国本来の味に近くて、おいしいチヂミを作りたいと思いました。玉ねぎ、人参、じゃがいも、にら、玉子、だし、えび、いかまでいれて、おいしそうな感じに作りました。ところが実際に食べてみると味がなく、塩を入れるのを忘れたことに気がきました。食べて味を確認しなかったら、本当に大変なことになってしまいました。チヂミを食べてもらった後「おいしかったよ。」と言われた時は嬉しかったです。皆のおかげで無事に終わり、いい経験になりました。



●タイ料理 宮内ラウィーワン(タイ)
ことは10/30にやりました。てんきはあまりよくなかったけど、どきどきでした。スピーチはよくききました。わたしが4ねんまえにスピーチをしたときすごいきんちょうしました。アフリカとブルガリアのダンスはとてもおもしろかったです。もしわたしがダンスをするならこしがいたくなりそうです。ことしのりょうりはいろいろな国がつくって100えんで売りました。わたしはメキシコのもかんこくのもたべました。おいしかったです。らいねんもさんかすることとおもいます。スタッフのみなさまおつかれさまでした。

●中国料理 エリデンベリグ(中国)
10月30日(日)市民会館で国際交流フェスタ2011がおこなわれました。私は家族と友人と一緒に各国の料理コーナーにおいて、中国の家庭料理の水餃子を作りました。そして、はんばいしました。たくさんの方が水餃子を食べてくれました。餃子は全部売れました。そして他の国の料理も家族みんなで食べました。とても美味しかったです。各国の国の人たちと一日一緒に楽しくおもしろく、このたいけんは一生忘れません。スタッフのみなさん、ありがとうございました。そして、ごくろうさまでした。

*** 各国料理コーナー ***

● **メキシコ料理** (ベロニカ (メキシコ))
 野菜や肉をたっぷり包んでパクッと食べるメキシコの定番料理、パーティーなどに最適のタコスに舌鼓み。



(■当日のレシピはミニ通信110号に掲載予定です。)

● **餅つき in フェスタ** (スタッフ: 桑原 時夫)
 例年イベント部主催で12月20日頃にやっていた餅つきは、このところ外国出身者の参加も少なくなってきたので、どうしたものかと思っていたところ、準備会議でフェスタと一緒に実施してはという話になった。餅つきをする市民会館の庭園は調理場から遠く離れているので困ったが、運よく餅つき用具一式と合わせて燃料のガスバーナーも借り受けることができた。当日は開会式の前に一白つき上げてしまう計画で進めたところ、近くにいた人たちが準備中にもかかわらず掲ぎ上げに参加してくれた。二白目も参加者の目を釘づけにするという訳にはいかなかったが、小豆のあんをからめた60食余りが早々と売り切れてしまったのはありがたかった。



フェスタ 2011 運営スタッフ一同

● **せんべい焼き** (スタッフ: 布川 浩)
 去年に続き2回目となる“せんべい焼き”体験コーナー。二人のベテランに新人二人を加えた強力スタッフでのぞんだ。開店と同時に子供達が直ぐに並び始め、「早く食べたい」と順調なスタートである。次から次へと人が集まり休む暇もない。見かねたスタッフからジュースの差し入れがあった。美味しかった。子供からお年寄りまでたくさんの人に食べてもらえることができた。「100円?」と言ってお金を出そうとした人。「家で待っているおじいちゃんと妹にお土産」と小学生の女の子。焼きあがりのせんべいにしょう油を塗った時の「ジュジュウ」という音に、「ワアー、良い香り!」と大きな歓声をあげる親子連れ。子供達の笑顔は、本当に“せんべい焼き”を楽しんでいるようであった。スタッフもいつしか一緒に焼きながらの会話を楽しんでいた。「“せんべい”って何?」と首をかしげる外国人。この素朴な食文化の魅力は何なのだろう。今年是用意した150枚全てのせんべいを焼きあげた。本日これにて完売!



せんべい焼き



もち 餅つき

「野田市国際交流協会」

〒278-8550 野田市鶴奉7-1

(野田市役所内 企画調整課)

TEL : 04-7123-1065

FAX : 04-7122-1557

Mail : nodashikokusai@yahoo.co.jp

URL : http://www.nianoda.com

＜協会案内＞

私たちと一緒に国際交流しましょう!

どなたでも気楽に参加できます!

お待ちしております!

【年会費】	個人会員 2,000円	学生会員 1,000円
	家族会員 3,000円	賛助会員 10,000円 (一口)